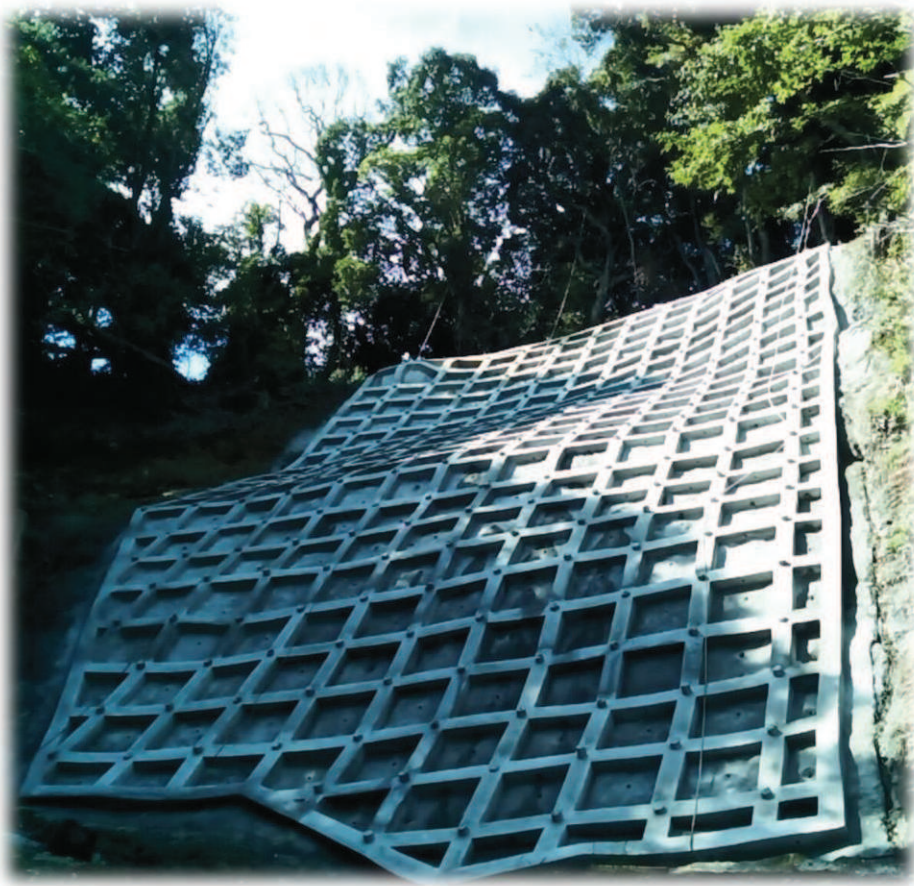


エコアクション21

環境経営レポート

(2023年8月～2024年7月)

2024年10月9日発行



株式会社 細江中村組

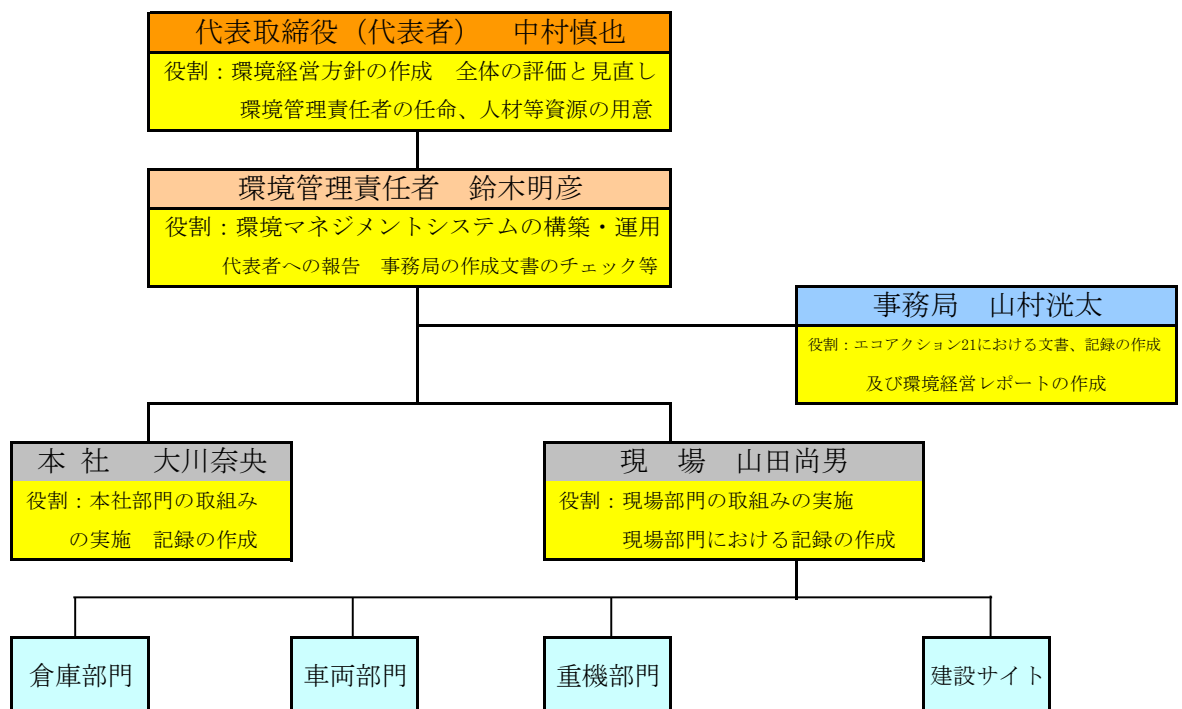
【組織の概要】

- 事業所名
株式会社 細江中村組 （浜松市浜名区細江町気賀1820番地の1）
- 代表者氏名
代表取締役 中村 慎也
- 事業活動の内容
総合建設業
- 事業の規模
完成工事高 7億7千万円
従業員数 19人
事業所床面積 323.45㎡
- 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
環境管理責任者 鈴木 明彦 （053-523-1155）
メールアドレス : hosonaka@sage.ocn.ne.jp

担当者 事務局 山村 洸太
本社 大川 奈央
現場 山田 尚男
- 事業年度
8月1日～翌年7月31日

【対象範囲】

- ・認証登録範囲 本社・倉庫・車両・重機部門及び建設サイトの全組織、全活動、全従業員を対象
- ・レポートの対象期間 2023年 8月～2024年 7月



【環境経営方針】

〈基本理念〉

株式会社細江中村組は、建設工事の事業活動を行うに際して、地球環境に及ぼす環境負荷を削減していくことを 全社員で積極的に取り組み、循環型社会の構築に貢献していきます。

〈基本方針〉

- (1) 当社事業活動における環境負荷削減のための環境保全活動項目として次の事項に取り組みます。
 - ① 環境に配慮した施工方法を計画し、施工します。
 - ② 使用エネルギーを低減させることにより、CO₂排出量を削減します。
 - ③ 分別、リサイクルの推進により廃棄物排出量を削減します。
 - ④ 節水により総排水量を削減します。
- (2) 当社事業活動に関連する環境関連の法規制を明確にし、遵守します。
- (3) 地域の環境保全のための地域貢献活動を行います。
- (4) 全従業員に対して環境方針を周知し、環境保全の意識を高めます。

制定日 2010年11月 1日

改定日 2018年12月24日

株式会社 細江中村組
代表取締役 中村 慎也

【補足説明】

基本方針(1)－①環境に配慮した施工方法を計画し施工します。
工事着手前に作成する施工計画書の中で「環境対策」として当該工事の工種や
周辺環境を十分考慮し、予想される環境被害への対策を具体的に記載して施工します。

【環境経営目標】

今期は前年度同様の基準値を使用し、目標値の設定を行いました。

今期は異常値が発生するような事象が特になかった為、新たに基準値を設定することなく前期同様の基準値を使用しました。

二酸化炭素の排出係数は、中部電力㈱の2023年度の調整後排出係数0.421 (kg-CO₂/kwh)を使用しました。

項 目	単位	基準値	目標値	2022年度 (22.8～23.7)	2023年度 (23.8～24.7)	2024年度 (24.8～25.7)
環境に配慮した施工方法の提案件数の向上 (請負金500万円以上元請工事での比率)	%	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上
二酸化炭素総排出量の削減 (本社)	kg-CO ₂	8,600.1	8,428.1	-1.0%	-2.0%	-3.0%
二酸化炭素総排出の要因の石油類 (本社)	L	633.7	621.0	-1.0%	-2.0%	-3.0%
二酸化炭素総排出の要因の購入電力 (本社)	k Wh	15,889.8	15,572.0	-1.0%	-2.0%	-3.0%
二酸化炭素総排出量の削減 (現場)	kg-CO ₂	72,902.7	71,444.6	-1.0%	-2.0%	-3.0%
二酸化炭素総排出の要因の石油類 (現場)	L	29,070.2	28,488.8	-1.0%	-2.0%	-3.0%
二酸化炭素排出量の削減 (現場) 工事部車両の燃費向上 (km/ℓ)	km/ℓ	15.5	15.8	+1.0%	+2.0%	+3.0%
総排水量の削減	m ³	152.3	150.8	-0.5%	-1.0%	-1.5%
産業廃棄物排出の再資源化率 (現場)	%	95%以上	95%以上	95%以上	95%以上	95%以上
一般廃棄物排出量の削減 (現場・本社)	t	0.576	0.564	-1.0%	-2.0%	-3.0%
地域環境保全の貢献活動実施	回	2	2	2	2	2

【環境経営目標の実績】

	評価基準	◎	達成率 (100%以上)	○	達成率 (95% 以上100%未 満)	△	達成率 (95%未満)
項 目	単位	過去実績値 (22. 8～23. 7)	基準値 (19. 8～21. 7)	目標値	実績値 (23. 8～24. 7)	達成率	評 価
環境に配慮した施工方法の提案件数の向上 (請負金500万円以上元請工事での比率)	%	100. 0	90%以上	90%以上	100. 0	111. 1%	◎
二酸化炭素総排出量の削減 (本社)	kg-CO ₂	7, 728. 8	8, 600. 1	8, 428. 1	8, 952. 9	94. 1%	△
二酸化炭素総排出要因の石油類 (本社)	L	687. 0	633. 7	621. 0	686. 0	90. 5%	△
二酸化炭素総排出要因の購入電力 (本社)	k Wh	15, 552. 0	15, 889. 8	15, 572. 0	17, 158. 0	90. 8%	△
二酸化炭素総排出量の削減 (現場)	kg-CO ₂	61, 144. 2	72, 902. 7	71, 444. 6	32, 655. 2	218. 8%	◎
二酸化炭素総排出要因の石油類 (現場)	L	24, 424. 1	29, 070. 2	28, 488. 8	13, 299. 3	214. 2%	◎
二酸化炭素排出量の削減 (現場) 工事部車両の燃費向上 (km/ℓ)	km/ℓ	16. 3	15. 5	15. 8	17. 6	111. 4%	◎
総排水量の削減	m ³	143. 0	152. 3	150. 8	169. 0	89. 2%	△
産業廃棄物の再資源化率 (現場)	%	100%	95%以上	95%以上	100%	105. 3%	◎
一般廃棄物排出量の削減 (現場・本社)	t	0. 531	0. 576	0. 564	0. 489	287. 9%	◎
地域環境保全の貢献活動実施	回	2	2	2	2	100. 0%	◎

二酸化炭素総排出量(本社) 単位: kg-CO₂

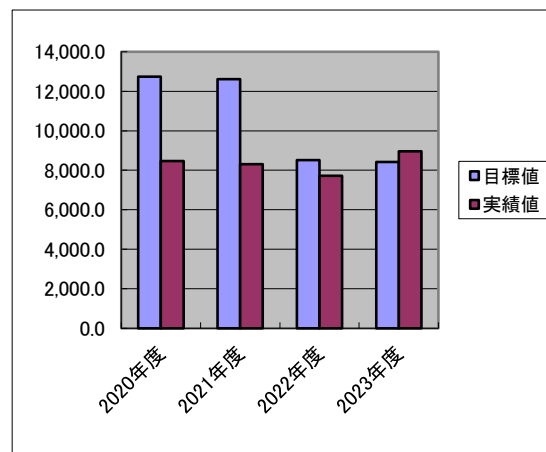
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
目標値	12,746.0	12,617.7	8,514.1	8,428.1
実績値	8,466.9	8,307.1	7,728.8	8,952.9

(注)

2021年度までの目標値は前回の基準値によります。

2022年度以降の目標値は新基準値によります。

新基準値は2022年度以前3ヵ年の実績値の平均とします。



二酸化炭素総排出要因の石油類(本社) 単位: t

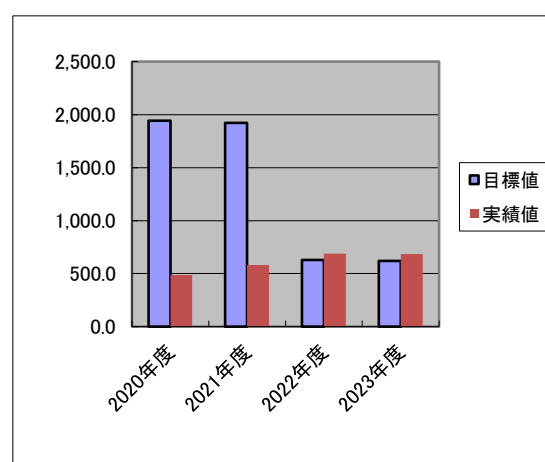
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
目標値	1,943.1	1,923.4	627.4	621.0
実績値	488.0	582.0	687.0	686.0

(注)

2021年度までの目標値は前回の基準値によります。

2022年度以降の目標値は新基準値によります。

新基準値は2022年度以前3ヵ年の実績値の平均とします。



二酸化炭素総排出要因の購入電力(本社)

単位: kWh

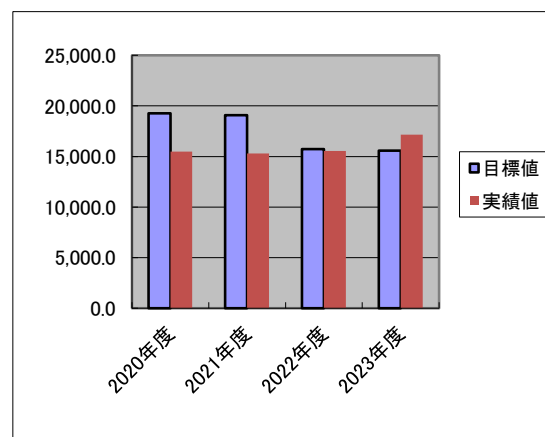
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
目標値	19,280.5	19,085.8	15,730.9	15,572.0
実績値	15,492.0	15,300.0	15,552.0	17,158.0

(注)

2021年度までの目標値は前回の基準値によります。

2022年度以降の目標値は新基準値によります。

新基準値は2022年度以前3ヵ年の実績値の平均とします。



二酸化炭素総排出量(現場) 単位：kg-CO2

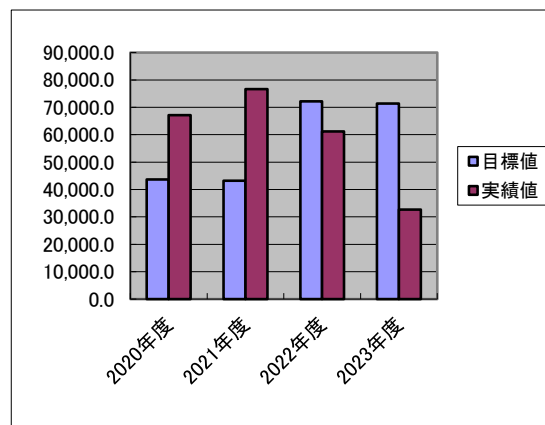
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
目標値	43,637.8	43,197.0	72,173.7	71,444.6
実績値	67,192.6	76,701.2	61,144.2	32,655.2

(注)

2021年度までの目標値は前回の基準値によります。

2022年度以降の目標値は新基準値によります。

新基準値は2022年度以前3ヵ年の実績値の平均とします。



二酸化炭素総排出要因の石油類(現場) 単位：ℓ

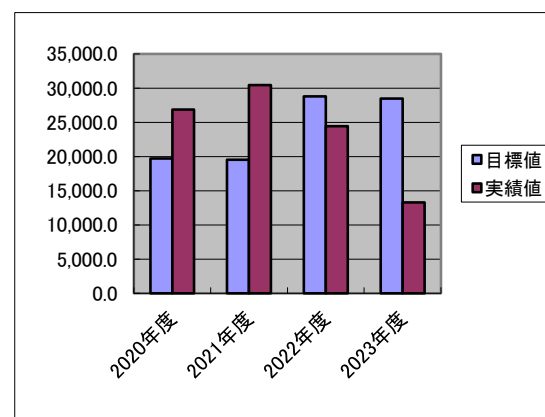
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
目標値	19,710.1	19,511.6	28,779.5	28,488.8
実績値	26,887.0	30,438.4	24,424.1	13,299.3

(注)

2021年度までの目標値は前回の基準値によります。

2022年度以降の目標値は新基準値によります。

新基準値は2022年度以前3ヵ年の実績値の平均とします。



車両燃費の向上 単位：km/ℓ

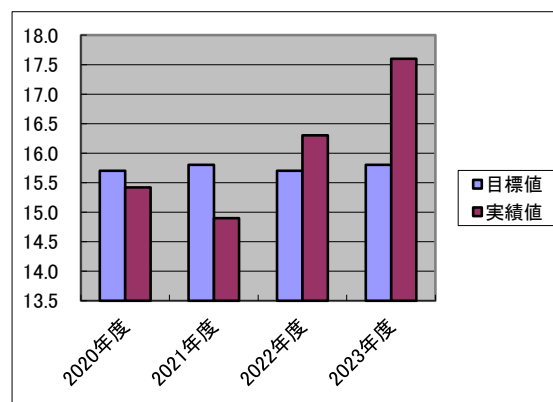
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
目標値	15.7	15.8	15.7	15.8
実績値	15.4	14.9	16.3	17.6

(注)

2021年度までの目標値は前回の基準値によります。

2022年度以降の目標値は新基準値によります。

新基準値は2022年度以前3ヵ年の実績値の平均とします。



総排水量

単位：m³

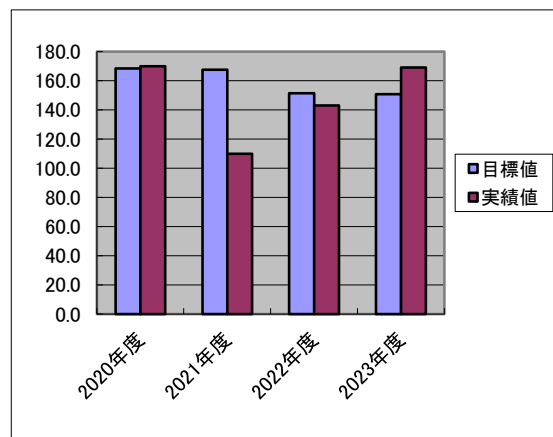
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
目標値	168.5	167.6	151.5	150.8
実績値	170.0	110.0	143.0	169.0

(注)

2021年度までの目標値は前回の基準値によります。

2022年度以降の目標値は新基準値によります。

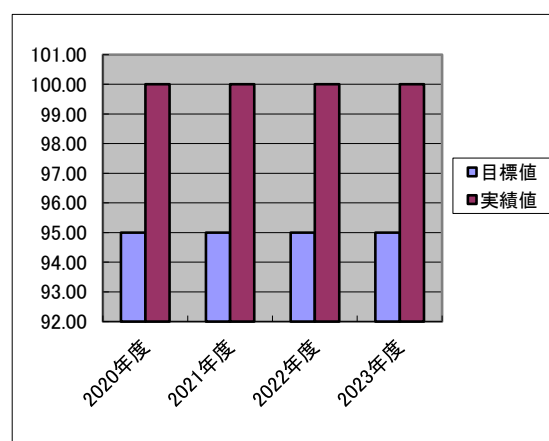
新基準値は2022年度以前3ヵ年の実績値の平均とします。



産業廃棄物再資源化率（現場）

単位：%

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
目標値	95.00	95.00	95.00	95.00
実績値	100.00	100.00	100.00	100.00



一般廃棄物排出量（現場・本社）

単位：t

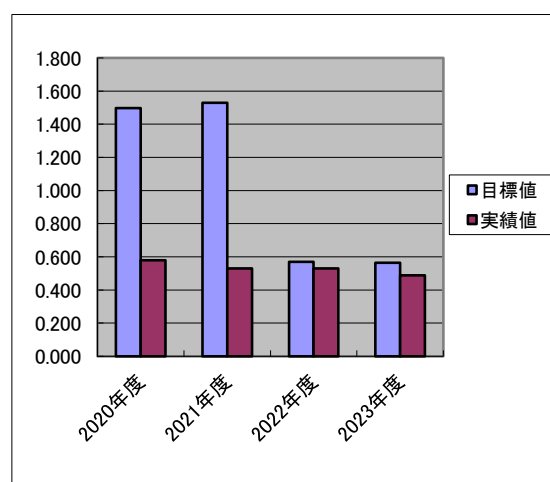
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
目標値	1.498	1.529	0.570	0.564
実績値	0.579	0.531	0.531	0.489

(注)

2021年度までの目標値は前回の基準値によります。

2022年度以降の目標値は新基準値によります。

新基準値は2022年度以前3ヵ年の実績値の平均とします。



【環境経営計画】

	担当者	実 施 期 間												
		23-8	9	10	11	12	24-1	2	3	4	5	6	7	
① 環境に配慮した施工方法の提案件数の向上(請負金500万円以上での比率)	山田尚男													
② 現場での再生資材使用 ・再生資材利用、購入の検討	山田尚男													
③ 二酸化炭素総排出量の削減 ・従業員へのエコ・ドライブの周知 a. 不必要なアイドリングの禁止 b. 急発進・急加速運転の禁止 c. エンジンブレーキの積極使用 d. エアコンの控えめな設定と使用 e. 不要な荷物を降ろす f. タイヤの空気圧チェック(給油時) g. 運転日報の記入提出の徹底 ・排出ガス対策型リース機械の採用 ・協力会社への排出ガス対策型機械・車両使用依頼 ・事務所内エアコンの設定温度を冷房時28℃、暖房時23℃に設定 ・不要な照明の消灯 ・パソコン、テレビ等の電源オフによる待機電力の削減 ・クールビズの推進 ・ウォームビズの推進	本社 大川奈央 現場 山田尚男 山田尚男 松山善夫 大川奈央 大川奈央 大川奈央 大川奈央	 												
④ 総排水量の削減 ・洗車時の節水 ・倉庫資機材洗浄時の節水 ・検針時の使用水量チェック	西尾昌明 西尾昌明 山村洸太	 												
⑤ 廃棄物排出量の削減 ・包装、梱包材不要の要請 ・施工に当たっての排出量削減の検討 ・個人ゴミ持ち帰りの要請 ・紙類の使用量、在庫量等の管理	山田尚男 大川奈央 山田尚男 山田尚男 大川奈央 大川奈央	 												
⑥ 地域環境保全の為の地域貢献活動 ・全社一斉の地域清掃活動(クリーン作戦)の実施 ・各建設現場内及びその周辺部での清掃活動の実施 ・会社隣接の老ヶ谷川堤防除草と清掃活動の実施	山田尚男 山田尚男 山田尚男	 (不定期)												

【環境経営計画の実施状況、その評価結果及び次年度取組内容】

評価基準	◎ 十分な取組みがされている	○ 更に取組みが必要	△ 取組みが不十分、未実施		
取組内容（2023/8～2024/7）		実施期間	評価	今後の取組	
①環境に配慮した施工方法の提案件数向上 (請負金500万円以上元請工事での比率)		通年	◎	対象となる工事全てにおいて、施工計画書で環境に配慮した施工方法の提案が明記されており、取り組みは実施されています。	今後も継続します。
②現場での再生資材使用 ・再生資材利用、購入の検討		通年	◎	設計書の項目にて再生資材に代替できるものは全て再生資材に代替できました。	今後も継続します。
③二酸化炭素総排出量の削減		通年	○	今期は受注工事の中で二酸化炭素を大量に排出する工種の現場が少なかった為、現場での二酸化炭素排出量が近年に比べて少なくなりました。一方事務所では、暑い日や寒い日が長く続いたことによりエアコンの使用時間が増えてしまった為、目標に届かなかったと思われます。	現場では二酸化炭素排出量を削減する方法を検討・実行します。 事務所ではエアコンの使用や電気の消し忘れに注意して二酸化炭素排出量削減の努力をします。
・従業員へのエコ・ドライブの周知		通年	◎	車両が数台新しくなったこともありですが、エコドライブ意識の向上により平均燃費の目標が達成できました。	今後も目標達成や燃費向上につながる対策を考え実行していきます。
a. 不必要なアイドリングの禁止		通年	◎	実施されています。	今後も継続させます。
b. 急発進・急加速運転の禁止		通年	◎	実施されています。	今後も継続させます。
c. エンジンブレーキの積極使用		通年	◎	実施されています。	今後も継続させます。
d. エアコンの控えめな設定と使用		通年	◎	1年を通してエアコンの必要な期間が長くなっていますが、その中でも必要最低限の使用と温度設定が成されていました。	今後も継続させます。
e. 不要な荷物を降ろす		通年	◎	不必要な資機材を積んで走行している車両は見られませんでした。	今後も継続させます。
f. タイヤの空気圧チェック (給油時にチェックしてもらう)		通年	○	ダンプ類については、専門業者による月次点検時に必ずチェックされます。現場担当者等の車両については、運転日報での自己申告制となっています。	運転日報の点検項目欄のチェックを徹底し、空気圧の定期的な確認、調整を啓発していきます。
g. 運転日報の記入提出の徹底		通年	◎	実施されています。	今後も継続させます。
・排出ガス対策型リース機械の採用		通年	◎	リース機械については全ての現場で排出ガス対策型をリースしています。	今後も継続させます。
・協力会社への排出ガス対策型機械・車両の使用依頼		通年	◎	常時取引の協力会社は、概ね排出ガス対策型機械を使用しています。	今後も継続させます。
・事務所内エアコンの設定温度を 冷房時28℃、暖房時23℃に設定		夏季 6月～9月 冬季 11月～3月	○	冬季では設定温度が確実に守られていました。一方夏季では、暑い日が長く続き設定温度が適切ではない時がありました。	室内温湿度計を使用し、適時適切な温度設定を行います。
・不要な照明の消灯		通年	◎	実施されています。	今後も継続させます。
・パソコン、テレビ等の電源オフによる待機電力の削減		通年	◎	実施されています。	今後も継続させます。
・クールビズ・ウォームビズの推進		夏季 6月～9月 冬季 11月～3月	◎	来訪者や取引先に不快感を与えないよう、適切に実施されています。	今後も継続させます。

取組内容（2023/8～2024/7）		実施期間	評価		今後の取組
④総排水量の削減	通年	○	前期と比べて総排水量が増加してしまつたため、改めて周知する必要がありますと思われる。		改めて周知徹底を行います。
・洗車時の節水	通年	◎	実施されています。		今後も継続させます。
・倉庫資機材洗浄時の節水	通年	○	直営班の仕事が減ってきたため、倉庫の整理や資機材の洗浄などを行う機会が増えたことが、総排水量の増加に大きく影響したと思われます。		雨水での洗浄など努力は見られますが、より一層の周知を行います。
・検針時の使用水量チェック	通年	◎	適時チェックをしています。		今後も継続させます。
⑤廃棄物の再資源化率	通年	◎	実績値を100%達成できました。		今後も継続させます。
・包装、梱包材不要の要請	通年	◎	現場では、材料の養生に必要なものもありますが、その場合はリサイクルできる状態にして会社に持ち込むことを周知し徹底しています。		今後も継続させます。
		◎	納入業者が本社に直接持ち込むものについては、包装、梱包材を全て引き取ってもらっています。		今後も継続させます。
・施工時における廃棄物削減の検討	通年	◎	工種、場所によって難しい面もありますが、各工事ごと検討しています。		今後も継続させます。
・個人ゴミ持ち帰りの要請	通年	◎	本社、ゴミ箱、ゴミ置き場への個人ゴミの投棄はありません。現場でも徹底されています。		今後も継続させます。
・紙類の使用量、在庫量等の管理	通年	◎	適時チェックされ、適正に管理されています。		今後も継続させます。
⑥地域環境保全の為の地域貢献活動	不定期	◎	今期も道路清掃や側溝清掃、草刈りなどを行いました。少しでも地域に貢献できた活動であったと思われます。		今後も継続させます。
・全社一斉の地域清掃活動 （クリーン作戦）の実施	不定期	◎	今期は細江町中川地内にて約1.5kmに及ぶ道路側溝の清掃活動を行いました。ほぼ全員の社員が参加し、少しでも地域に貢献できた活動であったと思われます。		今後も継続させます。
・各建設現場内及びその周辺部での 清掃活動の実施	不定期	◎	各現場にて現場周辺のごみ拾いや草刈り、周辺道路の清掃を行いました。少しでも地域に貢献できた活動であったと思われます。		今後も継続させます。
・会社隣接の老ヶ谷川堤防除草と 清掃活動の実施	不定期	◎	今期も老ヶ谷川護岸の草刈りやごみ拾いを行いました。中学生の通学路にもなっている場所なので、少しでも地域に貢献できた活動であったと思われます。		今後も継続させます。

【環境活動の実施状況】

＜事例その1＞ 資源回収、搬出状況

【2024年4月22日実施】

- ① 現場や事務所から排出されたコピー用紙や段ボール等の紙類を自社倉庫
に集積保管し、当社所有トラックにて資源回収所に搬出しました。

〈トラックへの積込状況〉



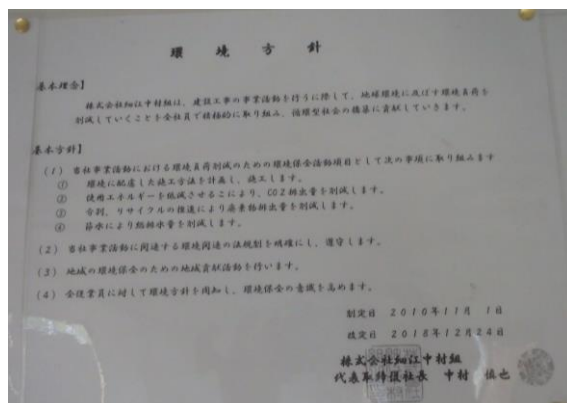
〈資源回収所にて分別作業〉



＜事例その2＞ 現場事務所における啓発ポスターの掲示状況

- ①環境方針 ②CO2削減 ③ブルーシートの取扱い
④ダンボールの整理、保管

工事名：令和5年度 市道整備国交付金事業（道整備交）
（市）細江11号線外1線道路改良工事（その3）



<事例その3>①地域貢献活動の実施状況(細江町中川地内道路側溝清掃)

1. 実施日 2024年 2月17日 (土)
2. 実施場所 細江町中川地内道路 (約1.5km)
3. 実施内容 道路清掃及び側溝に堆積した土砂の除去を行いました。
4. 参加人員 (株)細江中村組 従業員 17名



作業前

作業状況



新聞掲載記事

地域貢献

都田川付近 農道を清掃

細江中村組

細江中村組(浜松市浜名区・中村慎也社長)は17日、地域貢献活動の一環として



2級河川都田川付近農道の清掃活動を行った。

社員らが側溝の清掃を行った

当日は社員16人が参加。都田川付近の農道延長約2kmを対象に、側溝の清掃を行った。

同社はエコアクション21認証企業として、毎年定期的に事務所や工事現場周辺の清掃活動を実施し、地域に向け環境美化の意識啓発を図っている。

【環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無】

1. 当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

2024年10月9日

環境管理責任者 鈴木 明彦

法 規	条 項	適用内容	遵守状況	評価
廃棄物処理法	第12条第6項	委託契約（書）の締結・保存	○	運搬・処分共適切に整理保管されている。
	第12条第9項	多量排出事業者の処理計画書作成・提出	○	適切に実施されている。
	第12条第10項	同上処理実績報告書の提出	○	同上
	第12条の3第1項 及び第6項	産業廃棄物管理票交付及び保存	○	同上
	第12条の3第7項	管理票交付状況報告書の提出	○	同上
騒音・振動規制法	第14条第1項	特定建設作業の届出	○	同上
	第15条第1項	特定建設作業に係る騒音・振動 規制基準の遵守	○	同上
地球温暖化対策 推進 法	第5条	温室効果ガスの発生抑制	○	従業員の意識向上が見られる。
建設リサイクル法	第5条	廃棄物発生抑制と再資源の使用	○	適切に実施されている。
	第10条第1項	対象建設工事の届出	○	同上
	第18条第1項	対象建設工事終了時の発注者への報告	○	同上
フロン排出抑制法	第16条 ※環告13	簡易点検の実施	○	同上
家電リサイクル法	第6条	廃棄時には適切に対処 (ホームエアコン、冷蔵庫、洗濯機、テレビ)	○	今後も実施
グリーン購入法	第5条	環境物品の購入努力	○	適切に実施されている。
消 防 法	第17条第1項	消防用設備の設置及び維持	○	定期点検等実施している。
浜松市産業廃棄物 適正処理条例	第8条第1項	産業廃棄物管理責任者の選任	○	適切に実施されている。
	第8条第5項	同上責任者の設置・変更報告	○	同上
	第10条第1項	処分委託先施設の実態確認の実施	○	同上
	第10条第2項	同上確認結果の記録と保存	○	適切に記録・保存されている。

2. 訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟ありませんでした。

過去3年間、関係機関の指摘ありません。

【代表者による全体評価と見直しの結果】

作成年月日 2024年10月9日

作 成 者 環境管理責任者

①代表者への報告

鈴木 明彦

項 目	確 認 (必要に応じてコメント記載)
1 エコアクション21文書	☒ :
2 環境経営目標及び目標達成状況	☒ : ほぼ目標達成ができました。
3 環境経営計画及び取り組み実施状況	☒ : 各現場への環境方針の掲示等啓発活動にも努力しています。
4 環境関連法規及び遵守状況	☒ : 遵守しています。
5 外部コミュニケーション・対応記録	☒ : 全ての文書は担当部署に回覧し、必要に応じて掲示し周知を図っています。
6 その他	☐ :

②代表者による評価と見直し

項 目	変更の必要性	指示事項等
1 環境経営方針	有 ・ ☒ 無	
2 環境経営目標・計画	有 ・ ☒ 無	
3 環境経営計画・取り組み項目	有 ・ ☒ 無	
4 環境に関する組織	有 ・ ☒ 無	
5 その他環境経営システム要素	有 ・ ☒ 無	
6 その他	有 ・ ☒ 無	

③総評

□全体の評価・コメント
「現場における二酸化炭素総排出量」の項目は昨期から目標達成に至り、今期も継続してなされています。また、「産業廃棄物の再資源化」、「一般廃棄物総排出量の削減」の各項目は過去数年に渡り目標達成が続いており、大変すばらしいと思います。しかし、近年の夏場の猛暑期間の長期化に伴い、熱中症対策として、エアコンの使用頻度が高まり、結果として「本社における二酸化炭素総排出量」の項目では目標の達成に至りませんでした。熱中症対策としてエアコンを使用することは止むを得ないですが、室内の温湿度計を利用してこまめなエアコン温度・風量管理を行なう等の対策が、今以上に必要となります。 株式会社 細江中村組 代表取締役 中村慎也